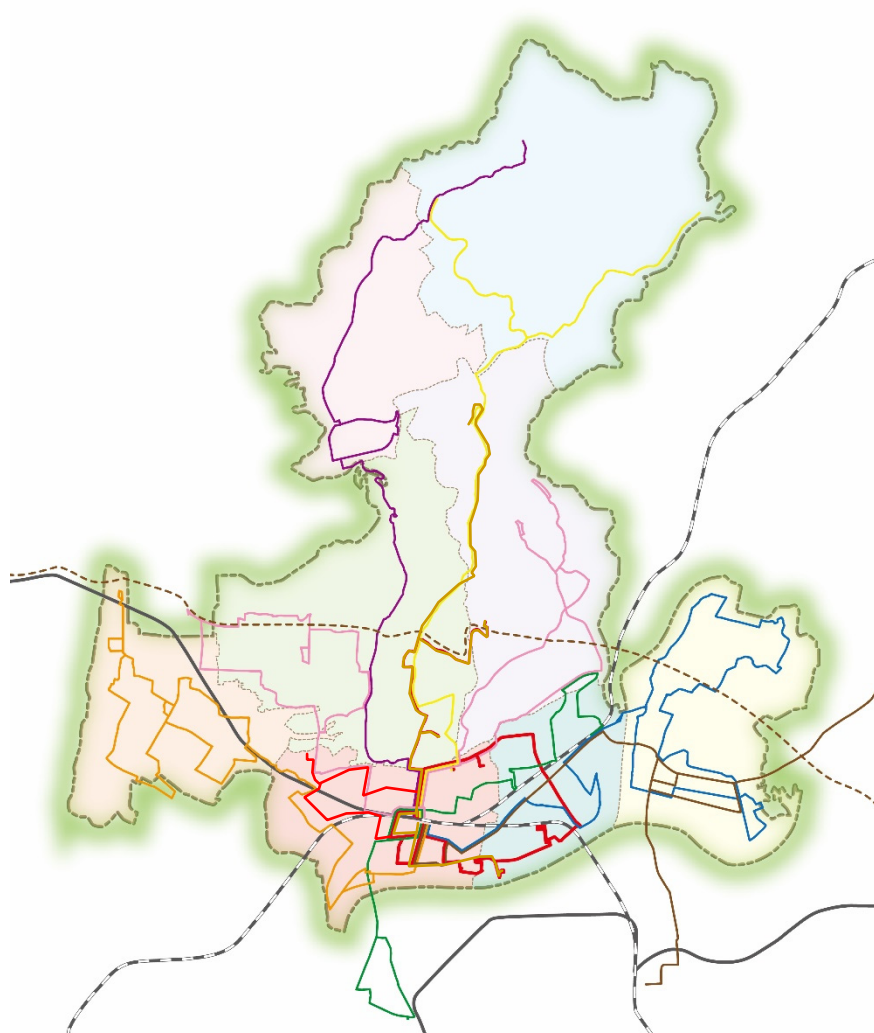


第2次美濃加茂市地域公共交通網形成計画

—概要版—



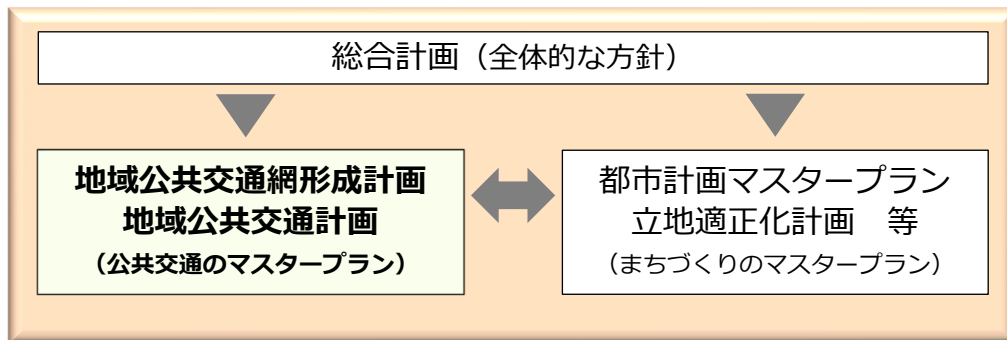
美濃加茂市地域公共交通活性化協議会

1. 計画策定の目的

1) 社会情勢の変化と法律改正と地域公共交通網形成計画の位置づけ

近年我が国では、地域住民の移動手段の確保、まちのにぎわい創出など、住みやすく、活力に満ちた地域社会の実現に向け、地域公共交通の役割が見直されています。このような背景の下、総合計画や都市計画マスタープラン等の上位・関連計画との整合性を図り、地域公共交通の現状、問題点、課題の整理を踏まえつつ、まちづくりと連携した公共交通ネットワークを形成し、持続させることを目的に、地域全体の公共交通システムのあり方、住民・交通事業者・行政の役割を定める地域公共交通網形成計画が策定できるようになりました。

図1 地域公共交通網形成計画の位置づけ



2) 美濃加茂市地域公共交通網形成計画策定の必要性

美濃加茂市の第6次総合計画では、「WALKABLE CITY MINOKAMO」という将来像の下、「すべての健康のために歩き続けるまち」を目指しており、6つの重要政策（6つのまちづくり宣言）のうち、住みよいまちにするための地域再生といった宣言や、「生涯元気なまち」を目指す健康増進といった宣言に関わる公共交通は、求められる役割が大きく多岐にわたります。



安心して住み続けるために

高齢になると自分で運転することが困難になってきます。また、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯では、家族などに送迎を頼むことも難しくなってきます。

このような人々の移動手段として、その役割を期待されているのが公共交通です。さらに、高齢者だけでなく、子どもたちの移動手段にもなります。このように公共交通の充実は、美濃加茂市に子どもからお年寄りまでが安心して住め、また、いつまでも住み続けるために不可欠なものであると言えます。

コミュニティづくりと安心安全のために

公共交通は、誰かと乗り合うことになるため、そこでは会話や譲り合いなどが生まれ、コミュニケーションをとる機会となります。子どもたちにとっても公共性を学ぶ良い機会になり、公共交通を利用することは地域のコミュニティづくりにも繋がります。また、公共交通の利便性を高め、自動車以外でも移動できる環境が整備されれば、免許返納者が増え、交通事故のリスク削減にも繋がります。



公共交通と連携した健康増進のために

公共交通を利用することは、自宅からバス停や駅への移動など、歩くことが必要になります。

公共交通を利用して外出することは、適度な運動をすることになり、健康寿命を延ばし、介護する家族の負担軽減や医療費削減に繋がります。また、第6次総合計画で掲げた美濃加茂市の将来像「WALKABLE CITY MINOKAMO」の実現に向けては、健康増進に繋がります。



まちなかのにぎわい創出のために

公共交通を利用してまちなかに人が集まり、まちを歩くことで、商店街や中山道にもにぎわいが戻ります。新しいお店や憩いの場ができ、人々が交流し、新たな文化が生まれる可能性もあります。



環境負荷の低減のために

自家用乗用車と比較すると、バスや鉄道などの公共交通は環境にやさしい移動手段であり、一人ひとりの公共交通利用が地球規模の環境保全へと繋がります。



先進技術を活用した新たなサービスの提供のために

AI（人工知能）等の先進技術を活用したサービスの提供により、豊かな暮らしの実現に資する、便利でわかりやすい公共交通サービスを提供することが求められています。



公共交通が果たすべき役割は、高齢者や子どもたちの移動手段に留まらず、コミュニティづくり、健康増進、にぎわい創出、先進技術提供等、他分野にわたる効果が期待され、美濃加茂市が目指す“いつまでも豊かに暮らせるまち”の実現に向けては、公共交通の維持・活性化は必要不可欠なものと言えます。

これらより、前網形成計画に基づき実施した各種施策・事業の評価・検証及び、近年の社会経済情勢の変化等を踏まえ、先の将来像の実現を支援するため、地域公共交通のあり方を多様な関係者との連携のもと、第2次美濃加茂市地域公共交通網形成計画（美濃加茂市地域公共交通計画）を策定します。

2. 計画の区域と計画期間

1) 計画区域

本計画の計画区域は、美濃加茂市全域とします。なお、近隣市町との連携にあたっては、個別に協議・調整を図ります。

2) 計画期間

本計画は、本市が目指す将来都市像を見据え、これを支える公共交通の計画を策定するため、関連計画である美濃加茂市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の計画期間・見直しとの整合を図り、本地域公共交通網形成計画の計画期間は2020年度～2025年度までとします。

3. 計画の基本的な方針と目標

目指す交通将来像を達成するため、公共交通維持・活性化の基本方針に基づき、本計画として4つの目標を設定します。また、各目標の達成度を検証するため、以下に示す成果指標を設定します。

図2 計画の目標と目標値

交通将来像

安心・安全で便利な公共交通をみんなで育み、いつまでも健康で豊かに暮らせるまち

美濃加茂市地域公共交通網形成計画の目標と目標値

基本方針1 まちづくり計画と整合した市域の一体性の強化と定住自立圏の広域的な連携に資する利便性の高い公共交通ネットワークの維持・活性化を図ります

目標1 美濃太田駅での乗り継ぎ利便性が向上します

➤ **目標値1** 乗り継ぎ利便性（時間・距離・情報）に係る不満割合の減少

基本方針2 多様化する移動ニーズへの対応と健康や安心安全の向上に資する各種利用促進施策を展開します

目標2 健康的な乗り物である公共交通の利用者が増加します

➤ **目標値2** 普段のお出かけにおいて公共交通を利用する割合の増加

基本方針3 地域の魅力ある観光資源と先進技術が連携した公共交通の利便性を高める新たなサービスを提供します

目標3 魅力ある観光施設へのアクセス利便性が向上します

➤ **目標値3** 主要な観光施設における入込客数の増加

基本方針4 地域の愛着ある公共交通の維持・活性化に向けた多様な主体が連携した取り組みを推進します

目標4 持続可能な公共交通に対する関心が高まります

➤ **目標値4** 行政負担額
地域住民等が主体または地域住民等と連携した取り組みの件数



美濃加茂市地域公共交通網形成計画全体の目標

目標 みんなで育む公共交通を利用

➤ **目標値** 公共交通全体の利用者数の増加

表 1 目標値算出の根拠[目標年次：2025 年度]

目標	目標値	成果指標															
目標 1 美濃太田駅での乗り継ぎ利便性が向上します	目標値 1 乗り継ぎ利便性（時間・距離・情報）に係る不満割合の減少	【指標】 乗り継ぎに関する不満度割合（バス利用者アンケート）															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値[R7]</th> <th>現況値[R1]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗り継ぎの際の待ち時間</td> <td>28%未満</td> <td>29.7%</td> </tr> <tr> <td>乗り継ぎに関する情報や案内</td> <td>14%未満</td> <td>15.9%</td> </tr> </tbody> </table>		目標値[R7]	現況値[R1]	乗り継ぎの際の待ち時間	28%未満	29.7%	乗り継ぎに関する情報や案内	14%未満	15.9%						
			目標値[R7]	現況値[R1]													
乗り継ぎの際の待ち時間	28%未満	29.7%															
乗り継ぎに関する情報や案内	14%未満	15.9%															
目標 2 健康的な乗り物である公共交通の利用者が増加します	目標値 2 普段のお出かけにおいて公共交通を利用する割合の増加	【指標】 公共交通の利用割合（市民アンケート）															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値[R7]</th> <th>現況値[R1]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共交通の利用割合</td> <td>35%以上</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>		目標値[R7]	現況値[R1]	公共交通の利用割合	35%以上	30.0%									
	目標値[R7]	現況値[R1]															
公共交通の利用割合	35%以上	30.0%															
目標 3 魅力ある観光施設へのアクセス利便性が向上します	目標値 3 主要な観光施設における入込客数の増加	【指標】 主要観光施設入込客数（岐阜県観光入込客統計調査）															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値[R7]</th> <th>現況値[R1]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要観光施設入込客数</td> <td>現況値以上</td> <td>110 万人</td> </tr> </tbody> </table>		目標値[R7]	現況値[R1]	主要観光施設入込客数	現況値以上	110 万人									
	目標値[R7]	現況値[R1]															
主要観光施設入込客数	現況値以上	110 万人															
目標 4 持続可能な公共交通に対する関心が高まります	目標値 4 行政負担額、地域住民等が主体または地域住民等と連携した取り組みの件数	【指標】 あい愛バス運行に係る利用者 1 人当たりの行政負担額（美濃加茂市）															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値[R7]</th> <th>現況値[R1]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政負担額</td> <td>現況値以下</td> <td>1,204 円/人</td> </tr> </tbody> </table>		目標値[R7]	現況値[R1]	行政負担額	現況値以下	1,204 円/人									
			目標値[R7]	現況値[R1]													
		行政負担額	現況値以下	1,204 円/人													
【指標】 地域住民等が主体または地域住民等と連携した取り組みの件数（美濃加茂市取りまとめ）																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値[R7]</th> <th>現況値[R1]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取り組み件数</td> <td>年 2 件以上</td> <td>2 件</td> </tr> </tbody> </table>		目標値[R7]	現況値[R1]	取り組み件数	年 2 件以上	2 件											
	目標値[R7]	現況値[R1]															
取り組み件数	年 2 件以上	2 件															
計画全体の目標 みんなで育む公共交通を利用	公共交通全体の利用者数の増加	【指標】 公共交通の年間利用者数（事業者提供データ）															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値[R7]</th> <th>現況値[H29・R1]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道（駅）年間利用者数</td> <td>170 万人/年</td> <td>165.6 万人/年</td> </tr> <tr> <td>バス年間利用者数</td> <td>13.8 万人/年</td> <td>11.6 万人/年</td> </tr> <tr> <td> 路線バス</td> <td>1.4 万人/年</td> <td>1.4 万人/年</td> </tr> <tr> <td> あい愛バス</td> <td>12.4 万人/年</td> <td>10.2 万人/年</td> </tr> </tbody> </table>		目標値[R7]	現況値[H29・R1]	鉄道（駅）年間利用者数	170 万人/年	165.6 万人/年	バス年間利用者数	13.8 万人/年	11.6 万人/年	路線バス	1.4 万人/年	1.4 万人/年	あい愛バス	12.4 万人/年	10.2 万人/年
			目標値[R7]	現況値[H29・R1]													
		鉄道（駅）年間利用者数	170 万人/年	165.6 万人/年													
		バス年間利用者数	13.8 万人/年	11.6 万人/年													
		路線バス	1.4 万人/年	1.4 万人/年													
あい愛バス	12.4 万人/年	10.2 万人/年															
※鉄道（駅）利用者数現況値は H29 データ																	
※路線バスは R1 年度（バス年度）、あい愛バスは R1 年度データ																	
◎あい愛バスは年間利用者数 15 万人を努力目標として掲げています																	

4. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体

1) 公共交通ネットワークの形成

本市が目指す交通将来像の実現に向け、市民が日常生活を送る上で必要となる移動手段として誰もが利用できる公共交通の確保・維持を図るとともに、活力ある持続可能な地域社会のために、広域的な視点からまちづくりと連携した公共交通体系を構築します。また、公共交通体系の構築にあたっては、美濃加茂市の公共交通を路線機能に応じ6種類に分類し、そのうち鉄道・広域交流バス・まちなか交流バス・観光交流バスを「公共交通軸」に位置づけます。

表 2 公共交通の機能分類

機能分類		路線機能
公共交通軸	鉄道	通勤・通学や買物、通院等、様々な利用目的に対処し、本市と周辺市町や岐阜市・名古屋市・高山市・多治見市・郡上市方面等を連絡する都市間交通軸として機能します。
	広域交流バス	通勤・通学や買物、通院等、様々な利用目的に対処し、鉄道と連携して地域の公共交通の骨格を形成するとともに、都市間交通軸の機能を担います。
	まちなか交流バス	美濃太田駅を中心とした主要施設へのアクセス需要に対処し、広域交流バスと一体となり、地域の軸線として機能します。
	観光交流バス	交流結節点である美濃太田駅を中心に観光施設を結び、市内外から訪れる観光客のニーズに対応する機能を担います。
地域交流バス		各地域と美濃太田駅を結ぶ機能を有します。
個別輸送		個別輸送手段は、公共交通軸や地域交流バスが運行していない地域や時間帯における移動ニーズに対応する補完関係を構築します。

また、美濃加茂市地域公共交通網形成計画における公共交通維持・活性化の基本方針に基づいたネットワーク形成の方針を以下に示します。

図 3 公共交通ネットワーク形成の方針

- 鉄道及び広域交流バスはニーズに応じたサービスを確保します。
- まちなか交流バスは、美濃太田駅や主要な医療・商業施設等を循環することで、生活の利便性を確保します。
- 観光交流バスは、市内の観光施設を連絡し、これらを活用した市民の健康増進に寄与するとともに、市外からの観光ニーズに対応する路線を確保します。
- 地域交流バスは、各地域内を運行するとともに、各地域と美濃太田駅を直接結ぶことで、美濃太田駅までのアクセス利便性を確保します。
- 美濃太田駅を多様な交通手段相互が連携する交流拠点として位置づけ、乗り継ぎや交流拠点機能を充実します。

2) 各事業の着手時期・実施期間及び事業主体

計画の目標を達成するために行う各事業のスケジュールは、以下に示すとおりです。各事業については、美濃加茂市地域公共交通活性化協議会がとりまとめを行い、個別事業については、各実施主体が進捗管理等を行うものとします。

表 3 事業実施スケジュールと実施主体

事業名	内容	実施予定年度												実施主体	該当する基本方針
		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年			
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
1) 公共交通ネットワークの形成	(1) 鉄道の継続運行	JR高山本線、太多線 (適正なサービスの提供)	継続運行										交通事業者	基本方針1 基本方針2 基本方針3 基本方針4	
		長良川鉄道越美南線 (適正なサービスの提供)	継続運行										美濃加茂市・交通事業者		
	(2) 広域交流バスの再編	八百津線 (路線及び運行本数の見直し)	検討・実施										美濃加茂市・交通事業者		
		都市間高速バス (路線の見直し)	検討・実施										美濃加茂市・交通事業者		
	(3) まちなか交流バスの運行	あい愛バス (適正なサービスの提供)	継続運行(適宜見直し)										住民・美濃加茂市・交通事業者		
	(4) 観光交流バスの運行	あい愛バス (3公園連絡線の導入)	←		運行開始(適宜見直し)								美濃加茂市・交通事業者		
(5) 地域交流バスの運行	あい愛バス (適正なサービスの提供)	継続運行(適宜見直し)										住民・美濃加茂市・交通事業者			
2) 公共交通の利用促進策	(1) 先端技術を取り入れた公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業	①公共交通利用に係る積極的な情報提供	←										検討・実施	美濃加茂市	基本方針3 基本方針4
		②分かりやすい公共交通案内	←										検討・実施	美濃加茂市・交通事業者	
	(2) 公共交通の利用を誘導する事業	①割引運賃・企画切符の導入	←										検討・実施	美濃加茂市・交通事業者	
		②高齢者に向けた環境整備と制度の拡充	←										検討・実施	美濃加茂市	
		③市民サポーター制度の導入の検討	←										検討・実施	住民・美濃加茂市	
		④待合・乗継・乗降環境の改善	←										検討・実施	美濃加茂市・交通事業者	
	(3) バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	①関係団体との連携による公共交通の利用促進	←										検討・実施	美濃加茂市・関係団体	
		②企業と連携した取り組み	←										検討・実施	美濃加茂市・関係団体	
		③市民による各種活動の実施	←										検討・実施	住民・美濃加茂市	
	3) 持続可能な公共交通の維持に向けた三位一体の取り組み	(1) 三位一体の取組み	①美濃加茂市地域公共交通活性化協議会の開催	←										継続開催	
②あい愛バスファンクラブ(仮称)の開催			←		開催準備・検討		←								継続的開催
4) 評価及び推進体制	(1) PDCAサイクルによる実施	①各種ニーズ調査の実施・評価・改善・計画見直し	←										調査実施・評価・改善・計画見直し	住民・美濃加茂市・交通事業者	—

5. 計画の達成状況の評価に関する事項

1) 公共交通ネットワークの評価の基本的考え方

美濃加茂市地域公共交通網形成計画の評価は、計画策定翌年度から毎年実施する路線単位での評価と目標年度における総合評価をPDCAサイクルに基づき実施します。

図 5 公共交通ネットワーク及び路線単位のPDCAサイクル

